

## <アーティスト・プロフィール>

永田ジョージ / George Nagata



柔軟でメロディアスな演奏で音楽への愛情を表現する、旅するピアニスト。フロリダで生まれ、東京、ロンドンとペンシルバニアで育つ。クラシックピアノを4歳から習い、オスカー・ピーターソンの影響を受けてジャズ、ポップス、ソウル等のバンド活動を10代から始める。5年間の東京でのレギュラーライブを経て、サンディエゴに留学。ウェストコーストの音楽シーンで2年活動した後、東京に戻り音楽性の深みを追求する。帰国後は日本・米国・メキシコ・フランス・インドネシア・イスラエル等のミュージシャンとコラボレートし、ギター&ボーカルとのジャズトリオTriple Standardと共に日本・アジア・ヨーロッパのジャズフェスティバルに招聘される。2012年以降、リーダー&アレンジャーとしてジャズ・ラテン・ポップスのアルバムを9枚リリース。ピアニストとして、ポップス&ソウルシンガーのレコーディング、演劇・ダンサー・ライブペインター・ファッショントレーナー等とのコラボレーションに携わる。2016年、カリフォルニアでレコーディングしたソロピアノアルバム"Shade"をリリース後、インストルメンタルユニット「いちむじん」に参加。キングレコードよりアルバムをリリースし、映画にも作品提供。バンドとしてサンパウロ、メキシコシティ、ニューヨーク及び日本各地のコンサートホールで公演をおこなう。ボーカル・ミュージックへの愛が高じ、渋谷JZ Bratにて人気イベントVocal Crossingを9年間に渡って定期開催。各回ごとに3人の情感豊かなシンガーを招致し、一人ひとりの歌声と全体としてのハーモニーを、ポップス・ソウル・ジャズ・ミュージカル・映画音楽等のジャンルに跨ってピアノ一台でショーアップする。

音楽を主、自身を従とした姿勢は水や空気にたとえられ、幅広いオーディエンスに受け入れられている。

コモブチキイチロウ / Kiichiro Komobuchi  
エレクトリックベース、ウッドベース  
1966年東京生まれ。香港にて幼少期を過ごす。



音楽好きの家庭に育ち、15歳でチョッパーべースのルイス・ジョンソンの演奏に感動しベースを始める。当時は母のクラシックギターの弦を4本にして叩いていた。川端民生氏、ジョージ大塚氏に師事。ピットインなどのジャズライブハウスを中心にセッション活動を開始。90年代中頃からブラジル音楽の豊かさに吸い込まれるように傾倒するようになる。ボサノヴァ黄金期の一人、ロベルト・メネスカルとの出会いを機に1997年に開催されたボサノヴァ生誕40周年コンサート「Gets Bosa Nova」に多くのブラジルアーティストと共に出演。その後ワンド・サー、カルロス・リラ、ドリ・カイミ、ミュシャ、フィロー・マシャードなどの来日公演をサポートする。サンバの力強いグループを信条に掲げ、ジャズ、ファンク、ラテン、R&B、ソウル、ポップス、フラメンコなど様々なバンドでも活動を展開している。国内では渡辺貞夫、渡辺香津美、カルロス菅野、マリーン、渡辺真知子、CHAKA、玉置浩二、小野リサ、古澤巖、クリヤマコト、島健、島田歌穂、柏木広樹、東儀秀樹、アンサリー、瀬木貴将、河口恭吾など数多くのライブ、ツアーやレコーディングに参加している。現在オリジナルリーダーバンドの活動としてヴォーカルのCHAKAとデュオユニット【コチヂヤン】を結成。歌とベースだけのシンプルな世界に挑戦している。また2011年からフランス・シルヴア(Per)、小畠和彦(G)とブラジリアントリオ「Bata Com Fran」を結成し全国への活動を予定している。  
<http://comobass.com/>